

年2回(1月・7月)発行

シルバー 連合会 いしかわ

第45号

令和3年1月発行



国立工芸館
(東京国立近代美術館工芸館)

写真提供：石川県観光連盟

目次

シルバー連合会いしかわ 2021. 1 第45号

年頭のご挨拶

会 長 桶 川 秀 志	1
石川県知事 谷 本 正 憲	2
石川労働局長 武 隈 義 一	2

令和2年度8月から12月末までの主要事業

4 専門委員会	3
派遣業務担当者会議	3
石川労働局等への要請	3
普及啓発促進月間活動	4
第1回県内各センター事務局長会議《Web会議》	4
安全運転技能講習	4
第3回理事会《Web会議》	5
センター支援講習（連合会の独自事業）	5
高齢者活躍人材確保育成事業（国の委託事業）	6

衛生委員会 掲示板	8
-----------------	---

県内の各シルバー人材センターの活動	9～15
-------------------------	------

表紙写真の説明

国立工芸館（東京国立近代美術館工芸館）

東京国立近代美術館工芸館が金沢市に移転し、令和2年10月25日に開館しました。通称「国立工芸館」は、日本で唯一の国立で工芸を専門とする美術館であり、工芸王国石川の地に日本海側初の国立美術館が誕生しました。重要無形文化財保持者（人間国宝）や日本芸術院会員の作品約1,400点をはじめ、工芸館が所蔵する美術工芸作品約1,900点以上が東京から移転しました。

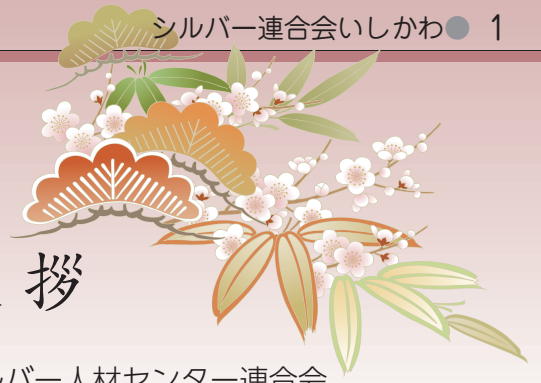
二棟の連結からなる建物は、明治期に建てられた旧陸軍の施設を解体・移築したもので、向かって左が第九師団司令部庁舎、右が金沢偕行社（陸軍将校の社交場）として使用されていました。ともに国登録有形文化財です。

（石川県ホームページより抜粋・編集）



年頭のご挨拶

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会
会 長 桶 川 秀 志



あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当連合会の運営及び諸活動につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今日、少子高齢化が急速に進む超高齢社会において、働く意欲のある高齢者の活躍の場として、シルバー人材センターの地域社会に果たす役割がより一層期待されております。

当連合会では、シルバー人材センターの役割や活動を広く県民の皆様にご覧いただくとともに、多くの方にシルバー事業に参加していただくため、国の委託事業「高齢者活躍人材確保育成事業」による、周知・広報事業、技能講習、就業体験事業を実施し、また、労働者派遣事業等の高齢者の就業機会の提供事業を推進しております。

しかし、昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大という予期せぬ事態により、社会・経済活動は、甚大な損害を被ることとなりました。シルバー人材センター事業においても、発注先、会員双方の安全確保のための就業の抑制、企業等の経済活動の縮小による受注の減少などで、収益の減を余儀なくされました。当連合会においても、一部の事業の中止・延期や縮小をせざるを得ず、また、派遣事業においては、派遣先事業所における会員の休業などへの対応も続いております。

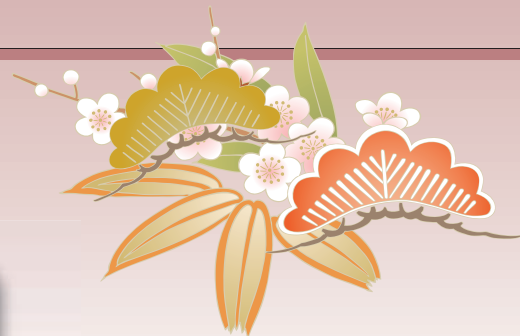
厳しい状況であります。本年も、地域のシルバー人材センターを支援するとともに、就業機会と会員の確保・拡大を同時に進め、また、安全就業の確保を重視した事業運営を推進してまいります。

最後になりましたが、関係機関の皆様には倍旧のご指導、ご支援を賜りますよう、併せて会員皆様のご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

謹 賀 新 年

会 長	桶 川 秀 志	公益社団法人金沢市シルバー人材センター理事長
副 会 長	竹 田 由 喜 夫	公益社団法人白山市シルバー人材センター理事長
副 会 長	藤 勝 好	公益社団法人七尾市シルバー人材センター理事長
理 事	坂 口 茂	公益社団法人輪島市シルバー人材センター理事長
理 事	紺 谷 重 男	公益社団法人かほく市シルバー人材センター理事長
理 事	南 忠 治	公益社団法人能美市シルバー人材センター理事長
理 事	竹 村 信 一	公益社団法人小松市シルバー人材センター理事長
理 事	宮 崎 護 紀	公益社団法人加賀市シルバー人材センター理事長
監 事	村 田 善 洋	公益社団法人津幡町シルバー人材センター理事長
監 事	北 増 田 一 勉	公益社団法人野々市市シルバー人材センター理事長
理 事	職 員	公益社団法人石川県シルバー人材センター連合会事務局長

年頭のご挨拶



石川県知事
谷 本 正 憲

社会経済活動の正常化と 企業の競争力強化に向けて

明けましておめでとうございます。令和3年の新春を迎え、皆様には、謹んでお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年は、全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、県政を取り巻く状況が一変しました。本県でも昨年2月に初めての感染者が確認されましたが、以来、高い使命感を持って献身的に感染者への治療を行っていただいている医療従事者や関係の皆様方、そして、県民生活に不可欠な社会インフラを支えていただいている皆様方に、深く敬意を表するとともに心より感謝を申し上げます。

本県経済は、持ち直しの動きはみられるものの、依然として、人やものの流れは感染拡大前の水準には回復しておらず、厳しい状況が続いています。このため、引き続き、ありとあらゆる手段を講じ、厳しい経営環境にある企業の事業の継続と雇用の維持を強力に支援してまいります。

加えて、融資制度や雇用調整助成金の特例措置の適用期限の延長を国に強く要請してきたところ、いずれも延長されることとなりました。これにより、当面のセーフティネットは確保できたと考えていますが、引き続き、県内企業の皆様の声をお聞きしながら、経済・雇用情勢を注視してまいります。

一方で、引続き採用に前向きな企業もあり、学生の県内就職、女性・高齢者の就業促進などの取り組みを進めてまいります。

高齢者の方々が、その能力を十分に活かし活躍する機会を確保することは、地域社会の活力を維持するために重要であり、多様な就業機会を提供するシルバー人材センターの役割は一層重要なものとなっています。県としても、シルバー人材センターの取り組みを引き続き支援してまいります。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



石川労働局長
武 隈 義 一

令和3年の新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、昨年中は、石川労働局の業務運営に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、最近の県内の雇用失業情勢は、長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響で企業からの求人が大幅に減少し、有効求人倍率が前年を大きく下回る厳しい状況が続いています。

こうした中、令和3年4月1日から改正高年齢者雇用安定法が施行され、現在の65歳までの雇用確保（義務）に加え、「高年齢者就業確保措置」を新設し、企業の皆様にとって70歳までの就業確保措置を講じることが努力義務となります。

団塊の世代が全て65歳を超え、高齢化が急速に進行している現在、企業における65歳までの継続雇用は定着しつつありますが、今後迎える超高齢化社会において、社会の活力を維持し、持続的な成長を実現するためには、働く意欲のある高年齢者が、年齢に関わりなくその能力や経験を生かして活躍し続けられる「生涯現役社会」を着実に実現していくことが重要なことから、石川労働局といたしましても、70歳までの就業機会の確保に取り組む企業へ65歳超雇用推進助成金の支給等の支援を実施してまいります。

また、高齢者の皆様が長年培ってきた経験・知識をいかに発揮していただき、社会の支え手となっていただくためには、高齢者の皆様の多様な就業ニーズに応じた就業機会を確保し提供していくことが重要であり、その中において、シルバー人材センターが果たしていく役割は、今後、ますます大きなものとなってまいります。

石川労働局といたしましても、貴連合会、石川県と連携を図りながら、シルバー人材センター事業を通じて多くの方が就業の機会を得て、社会で活躍いただけるよう、引き続き、支援を行っていくこととしています。

シルバー人材センター事業の更なる発展と関係各位の益々のご健勝とご発展を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

令和2年度8月から12月末までの主要事業

4 専門委員会

● 8月20日(木)・21日(金)

連合会に設置している4つの専門委員会は、令和2年3月31日をもって全委員が任期満了となったため、新たに委員を選任しました。

専門委員会の開催については、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、一所に参集することを行わず、送付した会議資料による審議をお願いし、ご意見等を文書にて提出いただきました。

8月20日 普及啓発推進専門委員会、就業開拓推進専門委員会

8月21日 安全・適正就業推進専門委員会、交流研修専門委員会

【各専門委員会の審議内容】

- ・令和元年度実施状況（報告）について
- ・令和2年度推進計画（案）について
- ・その他

派遣業務担当者会議

● 8月24日(月)

上記専門委員会と同様に、一所に参集することを行わず、会議資料を送付して行いました。

なお、当日意見交換を予定していた事項については、各実施事業所（センター）における取扱状況を提出していただき、その報告内容とそれに対する連合会の回答等を、後日各実施事業所に配付しました。

【意見交換事項】

- ・派遣契約期間が終了する場合等の対応
- ・派遣会員の就業管理
- ・同一労働同一賃金への対応
- ・年次有給休暇の対応

石川労働局等への要請

連合会では、令和2年度全国シルバー人材センター事業協会総会の決議事項に基づき、桶川秀志会長、増田勉事務局長ほか、8月26日（水）に石川労働局、9月24日（木）に石川県市長会及び石川県町長会、11月10日（火）に石川県を訪問し、シルバー人材センター活動への支援要請を行いました。

石川労働局では武隈義一局長、石川県では南井浩昌商工労働部長にご対応いただき、支援要請文を手渡し、説明及び意見交換をさせていただきました。



武隈義一
石川労働局長

桶川秀志
連合会会長

普及啓発促進月間活動

● 10月1日(木)～10月31日(土)

全国シルバー人材センター事業協会では、毎年10月を「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」と位置付け、全国一斉に地域でのボランティア活動及び普及啓発活動を展開しています。

今年度も、県内のシルバー人材センター及び当連合会では、同月間中に普及啓発活動を実施しました。

当連合会では、入居ビル屋上から懸垂幕「シルバー人材センター事業普及啓発月間 10月1日～10月31日」を掲示し普及啓発に努めました。なお、例年恒例となっておりますポケットティッシュ等普及啓発用品を配布しての街頭での周知広報活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から残念ながら中止しました。



第1回県内各センター事務局長会議《Web会議》

● 10月28日(水)

第1回の事務局長会議は、例年6月上旬に開催していますが、本年はコロナウイルスの影響で開催を見合わせ、10月にWeb会議の方式により開催しました。

桶川秀志会長のあいさつの後、連合会事務局から次の項目について説明を行いました。

- 全シ協からのシルバー人材センター事業に関する情報提供
- 令和3年度シルバー人材センター関係予算概算要求について
- 安全就業の徹底について
- 令和2年度国委託事業について
- 令和2年度センター支援事業について
- 労働者派遣事業について
- 派遣事業における通勤手当について
- 派遣事業における休業手当について
- 新型コロナウイルス感染症へのセンターの対応状況について



桶川秀志会長

安全運転技能講習

労働者派遣事業において、小中学生等や福祉施設利用者の送迎など、人員輸送業務に就労している会員を対象に、事故防止対策の一環として、平成27年度から本講習を実施し、安全運転のスキル向上と安全意識の啓発を目指しています。今年度は、10月から11月にかけて、県下13会場において実施し、118名が受講しました。

講習では、自動車運転技能自動評価システム（オブジェシステム）とドライブレコーダーを搭載した車両（マイクロバス、ワゴン車）を実際に運転し、ドライバーの運転の「クセ」など、運転行動を定量的に測定します。その測定結果を基に、一人ひとりの診断結果について、講師から解説と運転技能の改善に関するアドバイスを受けました。これにより、今後の運転業務に大いに生かされる講習となりました。

受講者アンケート ※抜粋

- Q1 自分の改善すべき点を把握できたか？ よくできた …64%、ややできた …32% 合計96%が把握できた。
 Q2 指摘されたとおり運転すべきか？ とても感じた 84%、やや感じた …15% 合計99%が感じた。
 Q3 安全運転の意識が変化したか？ 変わった ……71%、やや変わった 28% 合計99%が変化した。



第3回理事会《Web会議》

● 12月15日(火)《開催場所：連合会会議室》

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、Web会議の方式による開催となりました。

桶川秀志会長のあいさつの後、次のとおり審議が行われ、承認されました。

【審議事項】

○令和2年度収支補正予算について

【報告事項】

- (1) 令和2年度代表理事及び職務執行理事の職務執行状況報告について
- (2) シルバー派遣会員への休業手当について
- (3) シルバー派遣会員の通勤手当について
- (4) 安全就業の徹底について
- (5) 令和3年度「シルバー人材センター関係予算概算要求」について
- (6) 令和2年度国委託事業（高齢者活躍人材確保育成事業）について
- (7) 周知・広報用DVD（入会促進用・就業開拓用）の活用について



桶川秀志会長



Web会議の様子

センター支援講習（連合会の独自事業）

各センターの要望により、会員のスキルアップ（資格取得を含む。）や就業中の事故防止対策、そして、シルバー受託事業の主力となる業務の技術向上を図るため、技能講習（センター支援講習）を実施しました。

※今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催回数及び1回あたりの受講人数を縮小し、また、講習日程も9月以降に繰り下げました。

センター支援講習開催状況

令和2年12月末日現在

講習名	開催回数	受講者数
刈払機取扱作業安全衛生教育	6回	66名（7センター）
剪定講習	6回	60名（9センター）
清掃講習	2回	20名（3センター）
合 計	14回	146名（11センター）



刈払機講習
9月16日 羽咋市



剪定講習
10月28日 七尾市



清掃講習
11月5日 珠洲市

高齢者活躍人材確保育成事業（国の委託事業）

① 高齢者活躍人材確保育成連絡会議を開催

令和2年9月17日（木）、石川県地場産業振興センター第2会議室において、「高齢者活躍人材確保育成連絡会議」を開催しました。

この連絡会議は、本年度から、国の委託事業に、「シルバー人材センター連合会が中心となり、労使団体、地方公共団体、労働局が一体となった連絡会議を開催し、地域におけるシルバー人材センターの更なる活用促進を目指す。」とする新たな事業が加えられ、開催したものです。

連絡会議には、以下の機関・団体の方々にご出席いただき、シルバー人材センター事業について、多岐にわたる意見交換を行いました。

石川県商工会連合会
 石川県中小企業団体中央会
 日本労働組合総連合会石川県連合会（連合石川）
 石川県退職者連合
 石川県商工労働部労働企画課
 石川労働局職業安定部職業対策課



連絡会議での意見交換

《連絡会議の意見交換の中で、次のような御意見をいただきました。》

- ・ 高齢者の活躍が言われている中、シルバー人材センターの活用について、シルバーの制度、働き方についてもっとPRし、シルバーが利用しやすい制度であるということを周知・広報していくことが、一つの課題になっているのではないか。
- ・ 産業構造の変化によりサービス業が増加する中、シルバーの女性会員をどのように増やしていくかということが、シルバーの今後の発展のポイントになるのではないか。

当連合会では、連絡会議でいただいた御意見等を、今後の新たな事業展開、会員拡大に向けた施策に生かしていきたいと考えています。

② シニアライフセミナーの実施

人生100年時代に、シニア世代が、健康で、生きがいのある毎日を過ごすための一つの選択として、地域のシルバー人材センターに入会し、シルバー会員となって無理なく就業することや、シルバー内のサークル活動、旅行等を通じて親睦を図り、充実した暮らしを送ることができるよう、シニア世代の充実した暮らしのヒントとなる「シニアライフセミナー」を、次の県内3会場で開催しました。

***能登町11月17日 *野々市市12月8日（女性限定） *かほく市12月10日**

セミナーでは、シルバー人材センターの事業説明に続き、健康運動指導士の元橋 美津子先生からボールを使って体幹を鍛える「体力・免疫力アップ」体操の指導をしていただきました。

野々市会場でのセミナーの様子



シルバー人材センターの説明



体力・免疫力アップ体操

③ シルバー人材センターの周知・広報の実施

シルバー人材センターの周知・広報事業として、4月～6月及び10月にテレビCMや新聞広告、バス車体上での広告を実施し、自治体広報誌等には、年間を通じてシルバーの広告を掲載しています。

また、10月には、県内全域での新聞折込広告を実施しました。



テレビCM



新聞広告



折込チラシ

④ 就業体験の実施

就業体験は、シルバーの会員でない方やシルバー会員で職種転換を図る方に対して、シルバー会員、企業等の協力を得て、実際の作業等についての体験や職場見学を実施するものです。

地域別就業体験実施状況

令和2年12月末日現在

開催地域	実施数(回)	体験者数(人)	内 容
石川中央地域	30	37	剪定、草刈、清掃、 受付、施設管理、 空き家管理、 家事援助、 花の植え付け作業等
南加賀地域	14	25	
中能登地域	27	37	
奥能登地域	11	15	
合 計	82	114	



花の植え付け体験

⑤ 各種技能講習の実施

60歳以上の高齢者の方がシルバーに興味を持ち、自信を持って就業できるよう、必要な講習を行うことによりシルバーの新規会員を増加させることを目的に、技能講習（1講習当たり1日～3日程度）を実施しています。

県内のシルバーにおいては、仕事によっては、依頼に対応できる会員が不足している状況もあることから、新規会員確保のため、センター、ハローワーク等と連携しながら本事業を推進することとしています。

技能講習地域別開催状況

令和2年12月末日現在

開催地域	開催数(回)	受講者数(人)	主な講習名
石川中央地域 金沢市・白山市 野々市市・内灘町 津幡町・かほく市	6	53	ハウスクリーニング、 ガーデニング、刈払機、 ドローン操縦
南加賀地域 小松市・加賀市 能美市	3	30	ハウスクリーニング、 調理補助
中能登地域 七尾市・羽咋市 志賀町・中能登町 宝達志水町	3	31	整理収納、 ラッピング、 調理補助
奥能登地域 輪島市・珠洲市 能登町・穴水町	4	25	片づけ収納、ガーデニング ドローン操縦、果樹剪定
合 計	16	139	



羽咋市9月28日
「調理補助講習」



能登町9月15日
「片づけ収納講習」

衛生委員会 掲示板

骨折を防ぎましょう その4 (ビタミンDについて)

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会 産業医 井上 一彦



皆様「新しい時代」を御変わりなく御元気で御過ごしのことと存じます。

紙面の都合で複数回に分けておりますが、前回に続きシルバー会員の業務中の災害として稀ならず起きており、生活の質を大きく損なう原因となる骨折を防ぐための話題です。今回は骨粗鬆症を予防する運動と食事に関して書かせて頂きましたが、今回は食事の中でもカルシウム吸収の為に大切なビタミンDに関して少し詳しく書かせて頂きます。

ビタミンDは皮膚でも作られる

骨粗鬆症の予防に不可欠なカルシウムの小腸での吸収にはビタミンDが必要で、「サケ、サンマなどに多く含まれ、イワシ丸干やシラス干も重量当たりではビタミンDが豊富である」と前回書きましたが、実はビタミンDは私達の皮膚でも作られるのです。

但し皮膚内のある種のコレステロールをビタミンDに変えるには紫外線が必要です。これが海水魚にビタミンDが多く含まれる理由なのですが、陽のあたる海面でプランクトンが紫外線を受けてビタミンDを大量に作り、それを沢山の小魚が食べ、更にそれを大きな魚が食べ、という食物連鎖が存在します。この御蔭で海水魚を日常的に食べていれば、太陽光を浴びなくとも直ちにビタミンDが欠乏することはないと言われています。

これを裏付ける大変興味深い大規模な研究結果があり、ヨーロッパ各地の人々の血液中ビタミンDを計測したところ、太陽光を浴びる機会が少ない北欧の人々にビタミンDが多いことが判明しました。一見「紫外線」と矛盾する結果なのですが、食習慣の比較検討により海水魚を多く摂取することでビタミンDが補われているのだらうと結論されています。中世の北欧で鰹が多く食べられたのは、宗教上の理由や単に畜肉を補うものとして説明されていますが、案外本能的にビタミンDに富むものを摂取していたのかも知れません。

もっとも食物だけではビタミンDは不足すると感じられていたらしく、日本人から見れば呆れるほど盛んな日光浴も骨粗鬆症を防ぐため確立された習慣なのだと思われるかもしれません。

ビタミンD欠乏を防ぐ為に肌が白くなった(?)

日焼けしない(紫外線で赤くなるだけの)白い肌もビタミンD欠乏を防ぐ為の変化だと考えられています。肌に色が有るのはメラニンという色素の為で、その役目は紫外線から皮膚を護ることです。新石器時代に北欧へ移住した人々(現代の北アフリカや中東に多い容貌に似ていたと推測されています)は、乏しい紫外線でもビタミンDを^{産生}する方向で、メラニンを減らす進化を遂げたと考えられています。ある遺伝学的計算では褐色の肌の集団が白い肌の集団に変わるには、白い肌の遺伝子を持つ人が褐色の肌の遺伝子を持つ人より平均2%多い子供を持つ(太陽光の乏しい土地ではビタミンDを多く^{産生}出来ることが「くる病」にならない等の点で生殖に有利に働くと考えられるので)として5000年かかるとされています。

ビタミンD欠乏を克服できず倒れた人々の長い歴史を思うと、毎日の食事に気を付け、晴れた日には適度の日光浴を兼ねて散歩しようという気にならざるを得ません。

おわりに

今回は骨粗鬆症を予防する食事の中でもカルシウム吸収に大切なビタミンDに関して書かせて頂きました。

骨粗鬆症に対する治療薬の進歩に関して前々回に触れましたが、薬が効果を現わすにはカルシウムとビタミンが十分に摂取されている必要があり、骨粗鬆症予防の為だけではなく治療の際にもビタミンDは重要と謂えます。

次回はカルシウムを多く含む食品として必ず挙げられる牛乳に関して書かせて頂きます。

今回も御読み頂きまして誠に有難うございました。

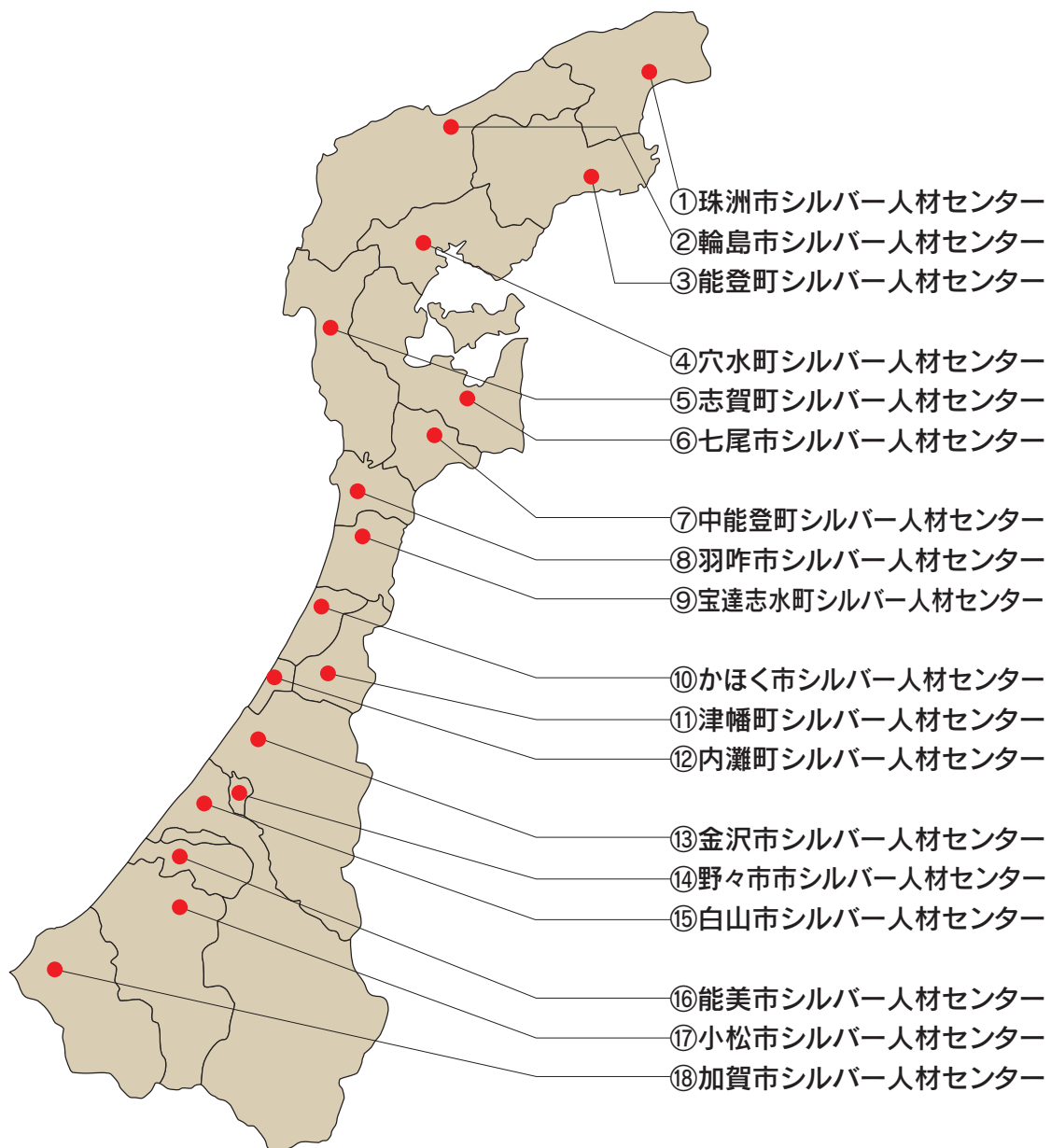
新型コロナウイルスに負けず益々御元気で御活躍下さいませ。

県内の各シルバー人材センターの活動

県内各地域18のシルバー人材センターの活動をご紹介します。

例年であれば、10月の「普及啓発促進月間」に、ボランティア活動や街頭での普及啓発活動などが活発に行われ、その様子などもお伝えしていますが、令和2年は、コロナ禍の影響で、中止や縮小が相次ぎました。各センターでは、不自由な状況にありながらも、独自事業、あるいは地域との交流を深める各種イベント、女性会員拡大に向けた催し、会員の親睦活動など、コロナ禍の中での安全対策を心がけて、各種活動を実施しました。

石川県内のシルバー人材センター所在地



① 公益社団法人珠洲市シルバー人材センター

★グラウンドゴルフ大会

9月28日（月）に、恒例のグラウンドゴルフ大会を開催しました。今年度入会された方も参加し、秋晴れの下、楽しくプレーしました。



★普及啓発活動の実施

10月17日（土）のシルバーの日に、公共施設・宿泊施設の3か所と、市内（大谷地区）で、会員による除草や清掃、空き缶拾いなどの奉仕活動を行いました。



★独自事業 ミニ門松製作

年末に向けて、ミニ門松を会員が製作します。材料の調達から一つ一つ手作りし、100個限定で販売し毎年完売しています。

② 公益社団法人輪島市シルバー人材センター

★千枚田での奉仕活動

奉仕活動として世界農業遺産の象徴とも言える白米千枚田の田植え（5月）・稲刈り（9月）に毎年参加しています。今年はコロナ禍の影響により、都会に住むオーナー会員は参加を見送り、地元住民のみで実施しました。



★しめ縄作りと販売

しめ縄作りの講習会を繰り返し実

施してきた結果、各会員の技術も段々に向上してきました。現在では、当センターのショップ「よっていかんけ店」での販売は元より、市内外のスーパーや農協販売所等からも引き合いをいただき、会員さんが丹精したしめ縄を納品しました。販路が広がって会員さんの励みにもなっています。



③ 公益社団法人能登町シルバー人材センター

★独自事業

- 今年もふるさと納税に出品するため、独自のブランド米を栽培し、稲刈りを会員5名で実施しました。刈り取った稲の束は「はざ木」にかけ、天日干しにします。太陽の光を浴びておいしく乾燥された「はざ干し米」として出荷しました。



- ドローン講習を受講した会員さんが、所有の田で練習を兼ねて稲の育成状況の確認をしました。また、ドローンは空き家管理にも大いに活躍しています。



- 会員拡大のため、今年度から住民、会員を対象に独自の調理講習会を隔月で実施しました。毎回10人前後の方が、地元産の食材等を使った講習に参加しました。

④ 公益社団法人穴水町シルバー人材センター

★蕎麦屋「そば処 大仏庵」

独自事業として始めた、手打ち蕎麦屋の「そば処 大仏庵」も、開業2年がたちました。新型コロナウイルスのため4月・5月と休業いたしましたが、現在は、通常に戻り営業をしています。

11月1日から15日までは能登長寿大仏のライトアップがあり、県内外からのお客様でにぎわいました。



昨年度から年越しそばの販売も始め、お客様にも好評をいただいています。

会員の就業拡大の場として、また海岸線から風光明媚な穴水湾を眺めながら能登大仏までの遊歩道（約2,000m）を散策後に一息つける皆様の憩いの場所、観光客の休憩場として利用できるよう、スタッフ一同、頑張っていますので、皆様のお越しをお待ちしています。



⑤ 公益社団法人志賀町シルバー人材センター

★クラフトカゴ作り教室

当センターが指定管理を受けている地域福祉センターでは、「クラフトカゴ作り教室」を開いています。今年度開始を目指して準備をしていたものの、新型コロナウイルス感染拡大防止のため自粛しておりましたが、外出自粛緩和に伴い、感染予防、拡散防止を徹底し、7月からようやくスタートすることができました。

地域から希望者を募り、会員さんが講師を務めて、週1回の教室を運営しています。始めは3人からの

スタートでしたが、少しずつ人数も増え楽しくカゴ作りをしています。10月には作品展を開催する程に皆さん上達しました。

教室への参加を機に入会した方もおられ、今後も会員の増員につなげていきたいと思っています。



⑥ 公益社団法人七尾市シルバー人材センター

★ななおあすなろ会「ボウリング大会」

当センター互助会の“ななおあすなろ会”では、会員さんの親睦と冬場の運動不足解消を兼ねて、毎年ボウリング大会を開催しています。景品も用意され大人気で、大勢の方が楽しんでおられます。本年度も2月に開催予定です。

★普及啓発促進月間のボランティア活動

10月7日（水）に、会員さんからの提案で清掃・除草・剪定のボランティアを、市内3か所で行いました。会員さんの、地域やセンターへの愛情が感じ取れる嬉しい作業現場でした。

★ふれあいの集い

年2回のビッグイベントです！

今年の春（1回目）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。「秋こそは必ず実現したい！成功させたい!!!」の思いで、10月10日（土）にセンター一丸となり、感染回避対策（来場者の検温・連絡先の記入依頼・消毒の徹底・ソーシャルディスタンスの確保）を徹底して開催の運びとなりました。そして思いが届け、当日は快晴！400人程のお客様にお越しいただき大盛況・大成功です！



令和2年2月の大会風景



⑦ 公益社団法人中能登町シルバー人材センター

★「シルバーの日」の普及啓発活動

10月17日（土）に、町内の大型店舗の店頭で、来客の多い午前11時過ぎからのぼり旗を掲げ、普及啓発活動を展開しました。コロナ禍対策としてマスク・ビニール手袋を着用し、PRチラシや啓発グッズを配りました。地域での困りごとのお手助け役としてのシルバーの存在を宣伝し、高齢者就業支援につなげていくためにも、このような啓発活動は欠かせず、頑張ります。



★独自事業「ハウス村」

ハウス内で四季折々の野菜や花きを栽培し、道の駅等に出荷して販売しています。ここでは、石川県が独自開発したエアリーフローラ（フリージア）も栽培しており、令和2年3月には8千個の球根が見事な花をつけました。コロナ禍の影響で暗いニュースが続く中、地元中学校の卒業式で、卒業生全員に花言葉である「希望」の願いを込めてエアリーフローラを贈りました。そして10月には前年の倍にあたる1万6千個の球根を植え付け、3月に華やかな花が咲き揃うのを楽しみにしています。

⑧ 公益社団法人羽咋市シルバー人材センター

★ボランティア美化活動

10月1日（木）、「道の駅のと千里浜」において、雨上がりの早朝にもかかわらず会員職員56人が参加し、清掃ボランティア活動を行いました。道の駅は、コロナ自粛の中でも県外からの来客が多く、羽咋のイメージアップにつながっています。



★独自事業eco農園班の活動 ～芋ほり作業～

10月中旬、恒例のサツマイモ収穫を行いました。のと金時、紅はるか等の選別、出荷作業も順次進めてきました。今年はシルバーフェスタが中止となり、出品が叶いませんでしたが、焼き芋に最適な大きさで、「道の駅のと千里浜」や「JAGグリーン」、当センターでの販売、学校給食に提供しています。

⑨ 公益社団法人宝達志水町シルバー人材センター

★エアリーフローラ栽培

会員確保・拡大のため、女性でも取り組める作業として今年度からエアリーフローラの栽培を開始しました。エアリーフローラは石川県のブランドでもあることから、県の協力による栽培講習会や実地研修会を終えて、現在、男性7名・女性5名の12名の会員が取り組んでいます。今後、咲いた花を町民等にPRし、女性会員の増加につなげられるよう期待したいです。



★ボランティア活動

10月27日（火）、「特別養護老人ホームちどり園」で約25名の会員が集まり、除草・剪定ボランティアを実施しました。毎年恒例の行事となっているため、会員それぞれが声を掛け合い、段取りよく作業する姿が見られました。綺麗になった園内を見た施設の方からの感謝の言葉に、やりがいを感じる一日でした。

⑩ 公益社団法人かほく市シルバー人材センター

★ブドウ狩体験会開催

令和元年度より、栽培継続ができなくなったブドウ畑を借りて、ブドウを栽培し、会員の皆さんへの販売を行っています。

8月8日（土）には、今回が2回目となるブドウ狩体験会を実施しました。今年はコロナ感染防止のため、人数制限等を設けた開催となりましたが、参加者には収穫の楽しさを存分に体験していただけたようです。



★ボランティア清掃

11月12日（木）、かほく市七塚中央公園でシルバー会員39名と役職員が参加して、主に落ち葉拾いを実施しました。

当日は天候にも恵まれ、会員さんたちは和やかな雰囲気の中で竹ぼうきやてみを使って作業を進め、軽ダンプ8台分の落ち葉を集め、園内の美化に汗を流しました。



⑪ 公益社団法人津幡町シルバー人材センター

★シルバー事業を知ってもらうため活動しています

10月17日（土）午前7時から1時間程度、シルバー人材センター会員37名が、「サンライフ津幡周辺」「中央公園周辺」「中条公園周辺」の3か所で「ボランティア清掃」を行いました。昨年までは、町内のスーパーでチラシや啓発グッズを配布しておりましたが、今年は、新型コロナウイルス感染症の対策として3密を避け、ボランティア清掃を実施したものです。



★剪定講習会

剪定作業員の後継者育成のため、津幡町シルバー人材センター独自の事業として10月28日（水）・29日（木）の2日間、剪定リーダーとして活躍する会員を講師として講習会を開催しました。

参加者は、講師による実践的な指導に触れたことで興味をもち、就業につながりました。



⑫ 公益社団法人内灘町シルバー人材センター

★普及啓発促進月間活動

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、ほとんどのイベントを中止しました。そんな中でも「普及啓発促進月間活動」として、10月22日（木）に、有志の会員さんに元気をいただきながら、除草ボランティアをさせていただきました。久しぶりに会う会員同士で、「元気か～」「どうしてた？」とお互いに声を掛け合い、町の歩道や道路の除草を開始すると、みるみるうちに綺麗になりました。改めて、皆さんのパワーは、すごいと感じました。



★マスク作り

コロナ感染症対策の一つとして必需品のマスクが不足していた時期もありました。当センターでは、地域の皆様のお役に立てるよう、マスク作りも始め、“マスクでおしゃれして、気分を上げていこう！”と販売をしています。最近では、友達へのプレゼントにと、受注生産の依頼もあり、会員も楽しんで作っています。ちょっと覗いてみませんか。



⑬ 公益社団法人金沢市シルバー人材センター

★金沢市営自転車等駐車場

当センターは、金沢市より金沢市営自転車等駐車場計44か所（暫定駐輪場7箇所含む）の指定管理者に選任されました。市内中心部に集中して設置されていることもあり、利用者はとても多く、たくさんの会員が春夏秋冬、早朝から深夜まで汗水を流し自転車等の整理を行っています。また、利用者への親切な対応技術も求められるため、会員に対する接客研修等も実施し、管理員の資質向上に努めています。



★女性対象入会説明会

女性会員の拡大を目的に、令和元年度より女性を対象とした入会説明会を年2回程度開催しています。シルバー人材センターの仕組みや入会方法の説明、女性会員が実際に就業した際の体験談発表もあります。参加者には、粗品のプレゼントやヨガ体操・篠笛の演奏など、簡単なレクリエーションも取り入れているのでとても好評です。昨年度の女性会員は、平成30年度比で21人の増加となり、女性会員の拡大に大きくつながっています。

⑭ 公益社団法人野々市市シルバー人材センター

★ちょっこしマーケット

8月11日（火）、家庭菜園をしている会員が作った野菜を持ち寄り、センター内で販売しました。今年初めての試みだったので、お客様が誰も来なかったらどうしようという不安な気持ちの中開催しました。しかし、ふたを開けてみれば野菜は開始30分で完売となり、一緒に出店した手芸サークルの手作り品も次々に売れて盛況のうちに終了となりました。



来年からも続けて開催する予定です。



★1の1マルシェ

普及啓発月間の取組として、9月27日（日）に野々市中央公民館で開催された野々市市観光物産協会主催の「1の1マルシェ」に、手芸サークルのメンバーが出店しました。今年度は、様々なイベントが中止となる中で、多くの来場者がありました。サークルのメンバーは、次回もイベントがあれば参加したいと意欲的に作品作りに取り組んでいます。

⑮ 公益社団法人白山市シルバー人材センター

★パソコンに関するお仕事

センターで長年取り組んでいるパソコンに関する業務ですが、簡単な文書作成や名簿作成、はがき印刷等様々なパソコンに関する業務を行っており、市内公民館や発注先にも出向いています。また、それに携わる会員もスキルアップのため、会員同志で月2回勉強会を行っています。



★ボランティア活動の実施

普及啓発促進月間に伴い、10月9日（金）に、こがね荘にて約40名の参加のもと清掃ボランティア（除草、落ち葉清掃）を行いました。

毎年恒例行事となっており、コロナ禍の中での開催でしたが、たくさんの会員に参加してもらいました。

①⑥ 公益社団法人能美市シルバー人材センター

★「能美ふるさとミュージアムにいこう!」イベント

10月17日にオープンした同博物館を訪れる機会をつくるイベントが11月8日に開催されました。当センターも活動を広く市民に周知するため、独自事業で栽培した野菜や加賀丸いもの販売を行い、東京2020オリンピックの聖火展示が行われるなど、終日多くの市民で賑わいました。



★農福連携事業

放課後等デイサービス「あとむ」を利用する児童生徒ら9人が当センター会員の指導のもと、加賀丸いもの収穫体験を楽しみました。

引き続き、収穫した加賀丸いもの乾燥・掃除・根切（ひげとり）などの作業状況を視察して、商品とする過程を学びました。



①⑦ 公益社団法人小松市シルバー人材センター

★センター設立40周年記念表彰状授与式及び記念植樹

去る10月14日に、設立40周年を記念し、表彰状授与式をセンターにて実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して役員のみが参加し、会員や団体及び事業所を特別表彰して記念の節目を祝いました。



併せて、サルスベリ(紅)とハナミズキ(白)の記念植樹も実施しました。



★会員互助会「フードドライブ」活動を実施

会員互助会が中心となり、自宅で眠っているもったいない食材を寄附していただく「フードドライブ」活動を、11月16日～20日に実施いたしました。お陰様で多くの会員から125点もの食材をご寄附いただきました。これらの品物は11月25日にNPO法人「あったらモン」を通して、児童福祉施設等へお渡しいたしました。

①⑧ 公益社団法人加賀市シルバー人材センター

★2020シルバー元気まつり・食まつり

シルバー人材センターの普及啓発及びコロナ禍で萎縮・自粛している会員さんと地域の皆さまの元気回復並びにレストランさくら3周年を記念し、11月14日(土)、かが交流プラザさくらにおいて、元気まつり・食まつりを開催しました。



当日は、天候にも恵まれ、毎週土曜日開催の野菜等の元気市に加え、橋立港水揚げ鮮魚・カニ、また、人気の餅つきやレストランさくらの5種類ワンコイン弁当販売を行いました。どれも大人気で大勢の方に購入いただきました。皆様の元気回復のお手伝いできたことと喜んでおります。コロナ感染防止、3密回避、ソーシャルディスタンスに苦勞しながらも、大変盛況のうちに無事終了いたしました。



事業主・事業所の皆様へ

「今だけ、ちょっと手が足りない」ことはありませんか？

必要なときに必要な人材を！ シルバー人材センターには、豊かな経験・知識・技能を持った60歳以上の会員が登録しています。お気軽にご相談ください。

◆「**請負・委任**」に加え、
職場の新たなパワーとして「**シルバー派遣事業**」をご利用ください！

※「シルバー派遣事業」とは「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、県シルバー人材センター連合会が行う労働者派遣事業です。

◆シルバー人材センターの就業形態や作業内容は、次のとおりです。

臨時的かつ短期的な就業
(概ね月10日程度以内のもの)

又は

軽易な業務
(週20時間未満のもの)

請負・委任
おおむね
月10日以内

技術・技能分野	庭木の手入れ・枝打ち・消毒、簡単な大工仕事
軽作業	機械除草・草刈、除草剤の散布、簡単な農作業
サービス分野	事務所の清掃、窓拭き
その他	チラシ配布、宛名書き、家事援助 など

派遣
おおむね
週20時間以内

管理分野	施設管理（受付、清掃等）、物品管理（商品・在庫）
技能分野	工場内での軽作業（加工・組み立て、検査など）
一般作業分野	品出し作業・パック詰め作業、梱包作業、ゴミ収集補助 など
サービス分野	介護補助、保育補助、調理補助、清掃 など

お問い合わせは、地域のシルバー人材センターまで。

金沢市 ☎076-222-2411
小松市 ☎0761-47-2855
七尾市 ☎0767-52-4680
加賀市 ☎0761-73-2456
白山市 ☎076-275-7604
羽咋市 ☎0767-22-2700

野々市市 ☎076-294-8303
珠洲市 ☎0768-82-6886
輪島市 ☎0768-23-8033
能登町 ☎0768-62-4688
かほく市 ☎076-281-3655
志賀町 ☎0767-42-2170

津幡町 ☎076-288-4462
中能登町 ☎0767-76-8060
能美市 ☎0761-58-4060
宝達志水町 ☎0767-29-4850
内灘町 ☎076-286-2992
穴水町 ☎0768-52-4680

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会

〒920-0862 金沢市芳斉1丁目15-15 TEL(076)222-4680 FAX(076)222-4681

ホームページ: <http://www.ishikawa-silver.com/>

「シルバー連合会いしかわ」は、石川県シルバー人材センター連合会のホームページからご覧いただけます。

